



懸 かけはし 橋

# ぎかいだより

2017.10.26 No.47



## CONTENTS

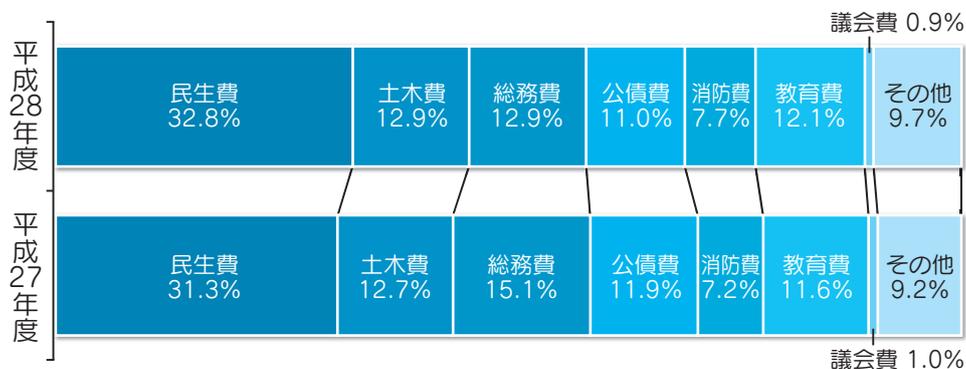
投資的経費、前年度比 28.1%増 .....	P 2
消防団員定数を 40 人削減へ .....	P 8
町政を問う（一般質問：4人） .....	P 9
産業民生常任委員会調査報告 .....	P 14
総務文教常任委員会調査報告 .....	P 15

下田まつりでさんさ踊りを披露する子どもたち



# 年度比28.1%増

## するも、公債費は3.7%減少へ

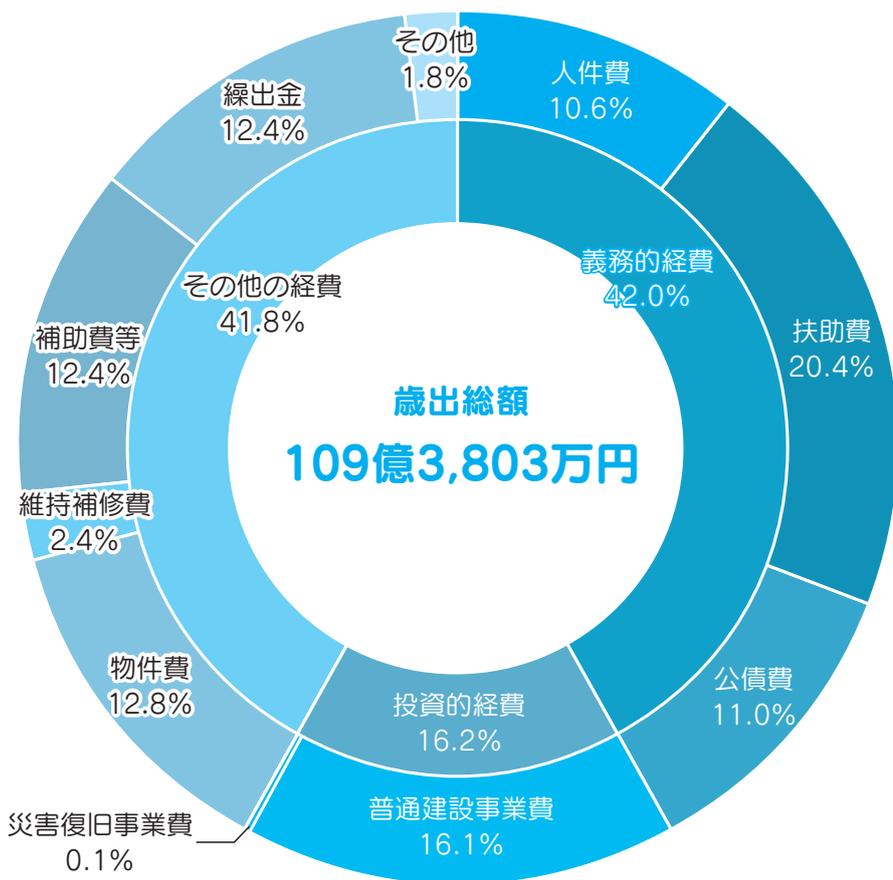


一般会計 歳出予算構成グラフ（目的別）

平成29年第3回定例会は、9月4日から8日までの5日間の会期で開かれました。放棄した債権や財政健全化法にかかる報告、学校給食センター整備事業に関する契約、平成29年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、報告6件、議案12件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また平成28年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定議案9件については決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり認定しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。



一般会計 歳出決算構成グラフ（性質別）

ポイント  
前年対比

- ◎4億8,435万円増加（前年比104.6%）
- ・扶助費1億1,684万円増加
- ・投資的経費3億8,966万円増加
- ・維持補修費3,912万円増加
- ・公債費4,599万円減少

**投資的経費：**支出が学校や道路などの資産の形成に向けられて、財産として将来に残るものに対して支出される経費

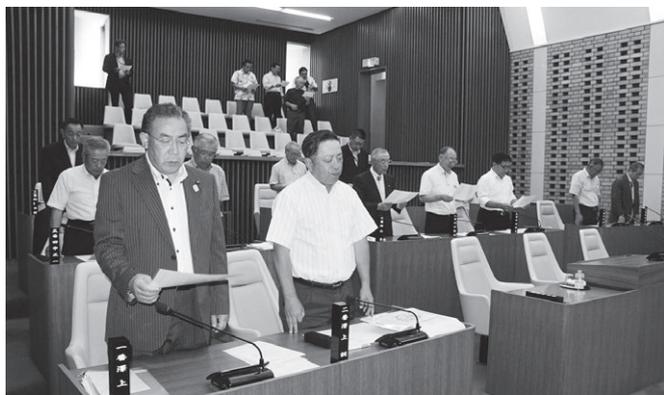
**公債費：**町が借り入れたお金の返済に充てる経費

**扶助費：**児童手当や乳児・高齢者・重度心身障がい者の医療費に使う経費

# 28年度 決算

# 投資的経費、前

# 新規借入額68.5%増加



開会前に町民憲章を唱和するようす

## 特別会計の決算状況

### 国民健康保険特別会計

29億2,757万円 (7.4%減)

### 奨学資金貸付事業特別会計

2,234万円 (2.3%増)

### 公共下水道事業特別会計

11億3,329万円 (1.1%増)

### 農業集落排水事業特別会計

1億2,915万円 (2.2%増)

### 介護保険特別会計

21億1,894万円 (0.3%減)

### 公共用地取得事業特別会計

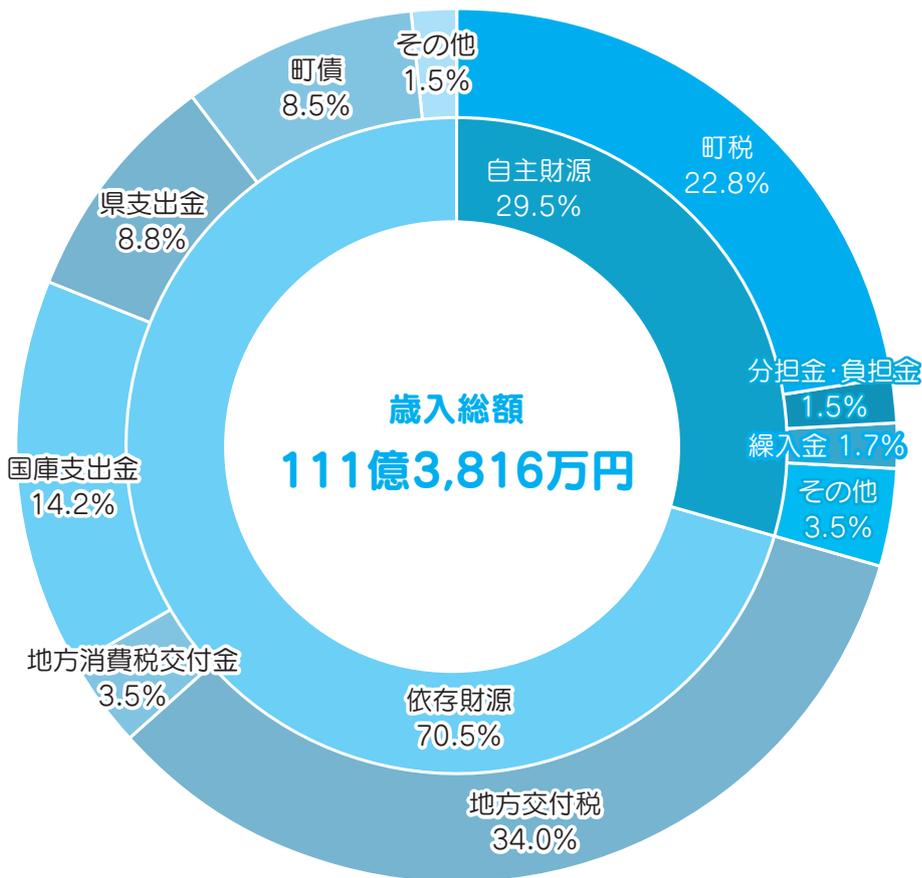
1,676万円 (33.1%減)

### 後期高齢者医療特別会計

1億6,628万円 (6.7%増)

### 病院事業会計

9億7,963万円 (2.5%減)



一般会計 歳入決算構成グラフ

**自主財源**：町が自主的に収入できるお金。

**依存財源**：国や県など、町以外の法律・基準・意思により決定され、町に分配・交付されるお金。

## ポイント 前年対比

◎3億4,461万円増加 (前年比103.2%)

- ・国庫支出金2億3,630万円増加
- ・町税1億3,591万円増加
- ・地方債(借金)3億8,293万円増加
- ・地方交付税2,533万円増加

## 健全財政維持への努力を評価、一層の努力期待。

### ― 決算審査報告 ―

町監査委員から決算審査、財政健全化審査及び経営健全化審査に関する意見書が提出されました。



審査結果を報告する  
名古屋誠一代表監査委員

### 【決算審査意見】

各会計とも適正に処理されていると認められる。

全体としては、地方債残高が減少し、基金残高は増加しているため健全財政維持への努力が見られる。

しかし、今後モインフラ整備や福祉など高レベルでの行政サービスの維持、継続が求められることから、より一層の努力と成果を期待したい。

次に、各種税、使用料等の収入未済額等の状況を見た場合、各担当課で徴収率のアップに大変努

### 財政指標 平成28年度一般会計等健全化判断比率

#### 実質赤字比率

一般会計、奨学資金貸付事業・公共用地取得事業の各特別会計の赤字の大きさ

28年度	2.25% の黒字	27年度	3.33% の黒字	早期健全化 基準	14.17%
------	--------------	------	--------------	-------------	--------

#### 連結赤字比率

一般会計と全ての会計の赤字の大きさ

28年度	17.59% の黒字	27年度	17.81% の黒字	早期健全化 基準	19.17%
------	---------------	------	---------------	-------------	--------

#### 実質公債費比率

借入金返済の負担の大きさ

28年度	12.4%	27年度	13.3%	早期健全化 基準	25.0%
------	-------	------	-------	-------------	-------

#### 将来負担比率

将来負担すべき負債の大きさ

28年度	23.6%	27年度	33.0%	早期健全化 基準	350.0%
------	-------	------	-------	-------------	--------

#### 資金不足比率

病院事業・公共下水道事業・農業集落排水事業の各特別会計の資金不足が事業規模に占める大きさ

28年度	—	27年度	—	早期健全化 基準	20.0%
------	---	------	---	-------------	-------

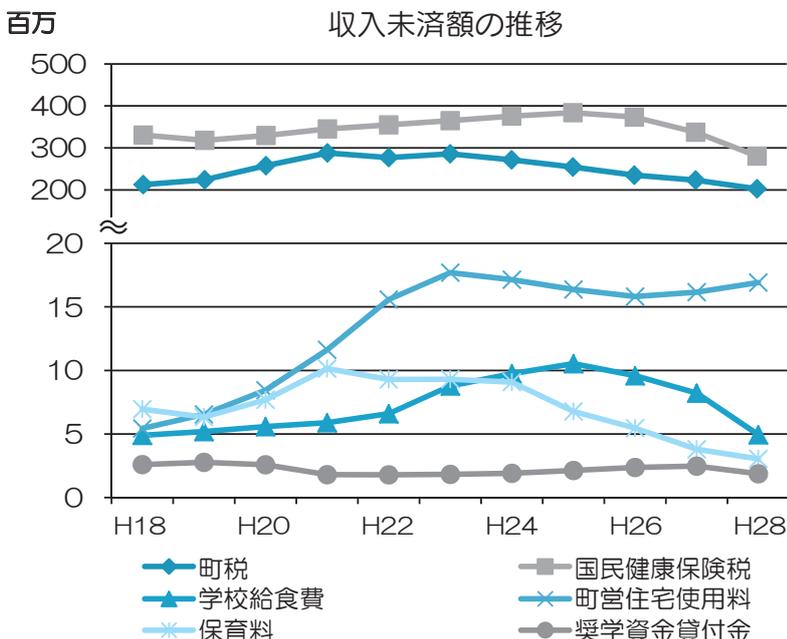
力していることは評価できる。  
しかし、「将来の不納欠損額」とならないよう引き続き努力を期待する。

また、税外債権については、収入未済額圧縮のために、債権管理条例を活用した効果が認められるので、引き続き、適切な運用に努めてほしい。  
【財政健全化審査意見】  
財政健全化判断の4項目の指標（左表参照）については、早期健全化基準を下回っていることが

ら特に指摘すべき事項はない。  
【経営健全化審査意見】  
病院事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の各会計は、赤字になつておらず、結果として資金不足の状況にはなく、良好な状況にあると認められる。

## 不納欠損額と一部収入未済額が大きく減少

今年度の不納欠損額は、前年度と比較して、約1152万円減少し、約5769万円となりました。特に学校給食費、保育料、公共下水道使用料等が減少し、奨学資金も大口納付により減少しています。  
また収入未済額は、約



## 人件費は減少、扶助費は増加傾向

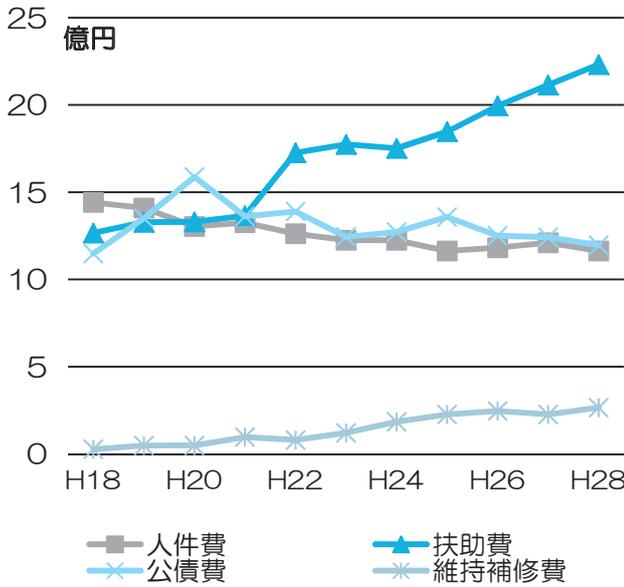
— 決算の状況 —

平成28年度歳出決算額は一般会計、8特別会計、病院事業会計を合わせて、184億3199万円となり、前年度決算額と比べ、2億3557万円の増となりました。

### ◆ 一般会計の状況は

一般会計歳出額は、前年から4億8435万円増額しています。

目的別で見ると、総務



費が1億6104万円の減となりましたが、民生費で木ノ下児童センター増改築事業などにより3億1361万円の増、教育費で学校給食センター建設事業などにより1億1482万円の増となっています。

◆ 合併時と比較すると  
合併直後の平成18年度決算数値と比較すると、人件費では14億4134万円から19・3%減の11億6336万円と減少していますが、扶助費は12億6640万円から76・2%増の22億3135万円と増加しており、義務的経費全体では38億5578万円から19・1%増となっています。

また、その他の経費では、積立金が2789万円減少しましたが、物件費で5538万円の増、維持補修費<sup>※3</sup>で3912万円の増となりました。

### 【地方債残高(町の借金)】

区分	平成28年度末	増減額
一般会計事業債	100億7,127万円	▲1億4,263万円
公共下水道事業債	75億8,536万円	▲3億2,417万円
農業集落排水事業債	6億5,238万円	▲4,519万円
財政安定化基金貸付金(介護保険特別会計)	1,500万円	▲1,500万円
公共用地取得事業債	0円	▲1,000万円
病院事業債	9,570万円	▲2,928万円
合計	184億1,971万円	▲5億6,627万円

### 【基金残高(町の貯金)】

区分	平成28年度末	増減額
財政調整基金	16億8,717万円	1億 210万円
減債基金	7億 784万円	52万円
地域振興基金	12億3,000万円	増減なし
東日本大震災復興推進基金	3,714万円	▲382万円
公共施設整備基金	5億5,682万円	2,629万円
その他基金(15基金)	8億8,363万円	6,891万円
合計	51億 259万円	1億9,400万円

# 決算特別委員会 ―主な質疑―

平成28年度の各会計決算認定は、議長及び議会選出監査委員を含む全議員をもって構成された決算特別委員会で審査することを付託されました。委員長に榎山 忠委員、副委員長に田中正一委員を選任し、2日間にわたり審査した結果、全会計の決算認定について異議がありませんでした。紙面では質疑の一部を紹介します。

## 積極的な基金運用を

### 実施する考えは

**平野委員** 町の債権配当金収入が約430万円もある。町の基金で証券を購入して収入をふやせるのではないのか。

**企画財政課長** いろいろな証券会社からセールスがあり、昨今、地方公共団体でも国債や有価証券を買ったりする動きがある。他市町村の事例やメリット、デメリット、経済情勢を見ながら研究しているところである。

## 町長と町民との懇談会

### その成果は

**澤上訓委員** 町長と中学生、高校生、熟年団体との懇談会を行っているが、政策のヒントになるものがあったのか。

## 町長

中学生との懇談会ではプールを作っただけではなく、冬にサッカーができる場所がほしいという夢が出され、政策的にも役に立っている。熟年団体との懇談会でもインフラ関連に対する要望も多いので、できる範囲内で予算を有効活用し、質の高い政策を考えていきたい。

## おいらせよなつ

### ソーランの普及状況は

**平野委員** おいらせよなつこのソーラン大会を開く考えはないのか。

**企画財政課長** 豊原のバイオニアソーランを中心に普及促進をしており、百石まつりの中日には百石高校生にも踊ってもらっている。よなつソーラ

## 町長

ンを活用している小中学校もあると聞いており、踊る団体が増えてきたら大会を開催したいと考えている。

**町長** 中学生との懇談会でも「踊ってよ」とPRしている。人気沸騰する踊りなので、おいらせ音頭とあわせてPRしていきたい。

## 婚活イベント事業

### 結果はどうなっている

**馬場委員** 婚活イベント事業の結果の追跡調査はしているのか。

またゴールインしておいらせ町に住んだカップルにお祝いはあるのか。お祝いがあれば、ゴールインまで頑張るエネルギーになると思うが。

## 企画財政課長

プライベート



決算特別委員会の議事を進行する榎山 忠委員長

シーの問題もあるので、追跡するのは難しい。

結婚しておいらせ町に住んだカップルへの特典もない。今後の検討課題としたい。

## 定住促進助成金

### 規則の見直しを

**澤上勝委員** 地域の元気再生定住促進助成金について、町内の助成にならない地域から助成になる地域へ移り補助金をもらっている実態があるが、好ましくないなので規則の見直しが必要だ。

町長は当選時に見直すと言っていたが。

**企画財政課長** この助成金制度は甲洋小学区、下田小学区の子どもが少なくなっている傾向から、その学区に人を呼び込め

うという考えから始まったので、町内での転居も対象としている。

また公約の全町に拡幅するという案も策定しており、今後、常任委員会に説明する予定である。

## 「穂の泉」を使った

### 町の活性化を

**澤上訓委員** 地場産米を使った日本酒「穂の泉」に合うような地場産品を使った酒の肴も開発してみてはどうか。

地元の酒とつまいものを使ったまちづくりを検討してほしい。

**商工観光課長** 「穂の泉」はおかず、つまみは必要ない酒と想っていたが、そういう意見があったということに関係者に伝えてみる。

## 町の基幹産業である

### 農業の対策を

**田中委員** カメムシ防除対策や農業用使用済プラスタック回収促進対策に関する事業費補助金はいつまで続けてくれるのか。

## 農林水産課長

使用済プ

ラスタック回収促進対策事業については、平成30年度を目標に終え新たな形で継続するように検討している。

カメムシ防除に関する補助金は平成28年度で終了したが、別な形で農業者の負担軽減策を検討したい。

## 阿光坊古墳館オープン

### その後の状況は

**澤上訓委員** 阿光坊古墳館がオープンしてから8月までの入場者数は。また夏休みを利用し、子どもたちを対象としたイベントは行われたのか。

**社会教育・体育課長** 8月末現在で2793人と順調に伸びていると考えている。

夏休みには「勾玉作り体験」を実施し、20名が参加した。今後も継続したい。

そのほかの質疑の内容は、会議録でご確認ください。会議録は、議会ホームページ、または議会事務局で閲覧できます。

# 補正予算

町役場新庁舎整備検討のため

調査費621万円を計上

## 平成29年度一般会計補正予算（第2号） 主な内容

### 【主な財源（歳入）】

- 町税（町民税・固定資産税）…………… 1億 450万円
- 地方交付税 …………… 1億 4,744万円
- 財政調整基金の取り崩し …………… ▲2億 1,849万円
- 前年度繰越金 …………… 5,008万円

### 【主な事業（歳出）】

- 新庁舎整備検討基礎調査業務委託料 …………… 621万円
- 公共施設整備基金積立金 …………… 400万円
- 町道維持補修工事費 …………… 430万円
- 町道整備工事費 …………… 4,000万円
- 東日本大震災復興推進基金積立金 …………… 1,372万円

平成29年度一般会計補正予算は、既定予算の総額に1億471万円を増額し、予算総額を104億5899万円としました。

#### 【主な質疑】

**松林議員** 新庁舎整備検討基礎調査業務はどこに調査を委託するのか。

平成25年7月に庁舎整備検討委員会ではイオンモール下田周辺を優先候補地としているが、庁内の検討委員会では、イオンモール周辺への建設は難しいとしている。それでもイオンモール周辺の調査を行うのか。

**総務課長** 土木建築の総合コンサルタントに委託するだろうと思う。調査は実施する。

**澤上勝議員** 町道整備工事費には旧木ノ下屯所跡地周辺道路の改良も含まれているのか。

**地域整備課長** 跡地周辺交差点西側は地権者の了解を得て木の伐採を終えているところもあるのですが、側溝等の敷設を行います。

**高坂議員** 町道整備工事費の内容は。

**地域整備課長** 6件程度を予定している。舗装ではなく、側溝整備を考えている。

**西館芳信議員** 北朝鮮のミサイル問題に関し、町の頑丈な建物はこの施設か。

**まちづくり防災課長** 百石小学校や百石高校など鉄筋コンクリート造の建物19力所になる。

**西館芳信議員** この平坦なおいらせ町にスイスの地下シェルターのような施設を作るよう国に働きかけてはどうか。

**町長** 町としてできることはやるが、それ以上のことは理解してほしい。

**西館芳信議員** 町を活性化する材料にできる。それを考えるのが町長の仕事ではないか。

**町長** 知恵を絞ってみるが、西館議員の知恵も教えてもらったら勉強してみたい。

## 特別会計

### ◆国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出にそれぞれ4769万円を増額し、予算総額を30億6969万円としました。歳出の内容は、高額療養費や国庫返還金の増額です。

### ◆奨学資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出からそれぞれ216万円を減額し、予算総額を2339万円としました。歳出の内容は、奨学資金貸付金の確定に伴う減額です。

### ◆公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出にそれぞれ222万円を増額し、予算総額を11億1475万円としました。歳出の内容は、補修工事費の増額です。

### ◆農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出にそれぞれ266万円を増額し、予算総額を1億3310万円としました。歳出の内容

は、古間木山処理施設に係る工事費の増額です。

### ◆介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出にそれぞれ6868万円を増額し、予算総額を23億7784万円としました。歳出の内容は、介護給付費準備基金積立金や国庫返還金、県費返還金の増額です。

### ◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出にそれぞれ192万円を増額し、予算総額を1億7212万円としました。歳出の内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額です。

### ◆病院事業会計補正予算（第1号）

収益的収入及び支出の既決予算の総額に1020万円を増額し、予算総額を9億6722万円としました。支出の内容は、人件費と機械備品及び建物設備等修繕費の増額です。

## 消防団員定数を40人削減へ

— (議案第45号) —

消防団員の減少に伴い、実情に応じた適正な定数管理を図る必要から条例定数を改定します。

条例で規定されている消防団員の定数と実員数に開きがあるため、条例定数400人を360人に削減する提案があり、全員賛成により可決しました。

### 【主な質疑】

**平野議員** 規則では階級ごとに人数が決まっているが、人数を減らす階級は。

### 【まちづくり防災課長

「団員」の階級にある者の定数を減らします。

## 新学校給食センター食器食缶等を購入

— (議案第47号) —

町では、平成30年4月稼働予定の新学校給食センターで使用する食器、食缶、食器力口を購入する契約を締結するため、議会の議決を求めました。

議会では、審議の結果、

全会一致で可決しました。

### 契約金額

3421万6452円

### 契約の相手方

株式会社 中西製作所

青森営業所

## 町の史跡等公園に阿光坊古墳群を追加

— (議案第46号) —

町では、史跡阿光坊古墳群整備工事が平成29年9月に完成することに伴い、木ノ下地区の「一里塚公園」、根岸地区の「巨樹の里」のほかに阿光坊

古墳群も史跡公園として追加する提案を行いました。議会では、審議の結果、全会一致で可決しました。



史跡公園として追加されることになった阿光坊古墳群史跡公園

## 生活困窮のため町債権を放棄

— (報告第18号) —

町債権管理条例に基づき、町債権8件、約29万3000円を放棄したとの報告がありました。

今回放棄されたのは、学校給食費に関する債権です。

平成19年度から21年度までの4件及び平成24年度から25年度までの4件、合計8件について、生活困窮を理由として債権放棄しました。

### 【主な質疑】

**澤上勝議員** 人数は。この学校か。判断基準は。

**学務課長** 債務者は2人だが、児童・生徒は4人。学校名は答えられない。

生活保護者のため、債権放棄した。

**澤上勝議員** 平成27、28年度の経過は。

**学務課長** 福祉事務所と協議し、生活保護費から給食費を引いてもらうようにした。

## その他の審議・報告案件

◆自動車事故に係る損害賠償の額の決定 (2件)

たことについて報告がありました。

◆一般会計継続費精算報告

◆町情報公開条例及び町個人情報保護条例の一部改正

平成27、28年度の2力年で行われた事業のうち、公共施設等総合管理計画作成事業に1037万円、阿光坊古墳群ガイドン入施設建設事業に3億8051万円を支出し

関係する法律の施行に伴い、情報公開等に関し必要となる規定を改正する提案があり、議会では全会一致で可決しました。

# 町政を問う

～ここが聞きたい一般質問～

ページ	質問事項	質問議員
10	1. 町長公約の達成度評価について 2. 第80回青森国体と多目的ドームについて 3. 次年度小学校の英語授業について	橋山 忠
11	1. 町消防団の再編について 2. おいらせ病院の経営状況と病院の運営方針について 3. 町長の出处進退について	平野 敏彦
12	1. 多目的ドームについて 2. 大人の引きこもりについて 3. 旧百石音頭並びに下田ふれあい音頭の今後の活用について	澤上 訓
13	1. 入札指名審査会について 2. 職員の資質向上について 3. 給食センター方式に伴う運営について	澤上 勝

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をだし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいたより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ（<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>）で閲覧できます。また、本会議場での傍聴もお待ちしております。

# 町長公約の達成度は

## 町長「8月末の見込みでは約95%である」



榎山 忠 議員

**町長の公約**  
実現できていますか

**榎山** 町民との連携の達成度の評価は。

**町長** 政策公約は、7つの柱を軸に施策を57件掲げ、達成に向けて取り組み、進捗状況は本年8月末の見込みでは約95%となっている。

町民との連携については自治基本条例の推進・町内会の連携推進など5つの施策の進捗率は76%となっている。

**榎山** 現在活動中の地域づくり協議会は、4小学校区中2学区だと思いが就任前より増加したか。

**まちづくり防災課長** 木内々小学校区の地域づくり協議会と古間木山連合町内会の2団体が平成24年に設立されたが、その後の設立団体はない。

**榎山** 町の基幹産業の振興の達成度の評価は。

**町長** 町内企業とのネットワーク強化による産業の発掘と企業誘致の推進・産業振興と雇用拡大の推進・観光振興の推進など8つの施策を掲げ、

その進捗率は100%となっている。

**榎山** その中の農・漁業振興支援の評価は。

**企画財政課長** 農業後継者のデータベース化、播種機購入費用の助成等、農地中間管理事業による農地集約化に取り組んだ。

**榎山** 今年の長雨、低温日照不足に対する対策は。

**農林水産課長** 病害虫の防除、県の生育状況調査の結果を待ち、営農指導連絡協議会を開催し、今後の対策等を協議する。

**榎山** 共済の補償がない減収状態となったとき、米価下落と同じ状態となるが、その対策は。

**農林水産課長** 共済組合の相談窓口が開設されるので、相談して、農家の声を届けてほしい。

いくらかでも減収の補填を共済組合に働きかけ、農家や関係機関と協議をし、対策を検討する。

**榎山** 住民の満足度を増す行財政改革の実現の達成度の評価は。

**町長** あいさつ、笑顔、元気な役場・人材育成、

職員が生き生き働ける環境づくり等5つの施策を掲げ、進捗率は92%となっている。

**榎山** 約2年間、副町長を選任できなかったが、副町長の次に要職にある総務課長は、現時点で何人変わったのか。その在籍年数は何年か。

**総務課長** 私で4人目となる。在籍年数は1人目が10カ月、2人目、3人目が12カ月ずつ、私は6カ月目になる。

**榎山** 町政評価委員会を制定する考えは。

**町長** 第3者のチェックの観点からの必要性は理解できるが、評価方法や総合計画、行政経営計画との関わり等整理する課題もあり、今後の検討課題にしたい。

### 2025年青森国体 おいらせ町でも

**榎山** 競技種目と町のエントリー種目は。

**町長** 正式競技はサッカー等38競技、公開競技はグラウンド・ゴルフ等5競技、デモンストラ

ションスポーツはスポーツチャンバラやフライン・ボール等31競技が示されている。

町はグラウンド・ゴルフ、パークゴルフ、フライン・ボール、スポーツチャンバラの4競技の開催地として要望している。

**榎山** グラウンド・ゴルフ誘致の可能性は。

**社会教育・体育課長** 県が再度行う意向調査の際に、あらかじめ町の該当団体等に意向を確認し、その結果で開催の要望を県に働きかける。

**榎山** スポーツチャンバラ、フライン・ボールを実施する考えは。

**社会教育・体育課長** 現在、その両競技とパークゴルフの開催を希望している。

**多目的ドーム**  
どうなっている

**榎山** 建設場所と施設規模は。

**町長** 町多目的ドーム整備検討委員会では、下田公園の東側、現在建設中の町民プール隣接地が望ましいとの意見である。

施設規模は特別ルールでも野球やサッカーの少年チームの試合のできる程度の面積、3000〜4000㎡程度との意見をともに、規模や形状を含め検討している。

**榎山** 完成時期は。

**町長** 現在のところ、着工時期、完成時期は具体化していない。



ドーム建設が望まれる  
町民プール隣接地



平野 敏彦 議員

## 三村町長の町政継続の意思は

### 町長「強い決意を持って出馬に臨む」

#### 町消防団の百石分団、下田分団の名称が一体感が感じられない

**平野** 百石分団、下田分団をおいらせ町分団に再編してはどうか。

**町長** 消防団組織の見直しについては、団内部では現在のところ話題になっていないようだが、定年前の退団や、新入団員減少等による団員数の維持が今後の課題になっている。

町消防団として、今後の組織体制や運営について、検討する時期に来ているものと考えている。

**平野** 再編する際に、現在の分団の区割りを見直す必要があると思うが。

**町長** 各分団の管轄区域の範囲については、出動の機敏性や即時対応力、精通した情報収集能力といった地域に密着した機能が求められることから、各分団の現状を把握、分析し、必要に応じて関係者と協議していきたい。

**平野** 消防団員の確保対策は。

**町長** 消防団員のメリットをアピールするような待遇面を掲載したチラシを作成し、町内公共施設などに配布し、加入促進を図っている。

なお、本年4月から出動手当を増額している。

**平野** 消防団長の待遇改善について、「団長交際費」を予算化しては。

**町長** 消防団長の涉外活動については、観閲式・総合防災訓練への参観の他、消防関係機関の会議の出席等があるが、出席時には公用車で送迎し、意見交換会等参加費も町一般会計で対応しているため、予算化については考えていない。

**平野** 町として配慮すべきではないか。

**町長** 他町村の団長の待遇を調査してみる。

#### 病院も町が進むべき方向を担っている 早く将来像を示してはどうか

**平野** 28年度決算で、1287万6千円の損失となっている。

入院患者数の減が要因とあるが、その内容は。

**町長** 入院患者数の延べ人数が、前年比1531人の減少となっている要因は、介護福祉施設の立地や気候条件など、複数の要素が作用した結果ではないか。

**平野** 29年度決算見込みは。

**町長** 決算見込みは、前年度と比較して実質収支が約600万円増加し、純利益を確保できる見通しとなっている。

**平野** 病院の機能分化及び連携の取り組み状況は。

**町長** 県の構想に基づき、急性期病床から回復期病床への移行を進めるため、地域包括ケア病床を29年度15床、30年度20床と段階的に充実させ、最終的には一般病床54床、地域

包括ケア病床20床の病棟として運営する予定である。

また、おいらせ地区連携推進会議の病院・診療所のほか、今後は八戸市民病院・青森労災病院・八戸赤十字病院との連携の強化を図る。

**平野** 病院の移転計画について、基本的な方向性を見出すとのことだが、現在の進捗状況は。

**町長** 病院建て替えについては、病床機能・病院の規模・建設費・再生可能エネルギー設備及び建設候補地の5項目について検討し、基本的な方向性を見出すこととしている。

調査研究のため、26年度に病院運営審議会が「南部町医療センター」を視察した。現段階では、病院規模を60床とし、建設費は約15億円と想定。建設地は今後検討していく。

#### 町政運営継続を 求める声もあるが

**平野** 第1回定例会でも質問したが、町長の本音を聞いていないと、多くの町民の声が私に寄せられた。決意は。

**町長** 多くの方々から信任をいただき、町政の引き取りを務めて、3年半の間、町民の幸せと町発展のため、誠心誠意全力で取り組んできた。

任期も残すところ半年となり、これまでの施策や町発展への取り組みについて、具体的施策は一定の成果を上げていると評価しつつも、目標達成は道半ばの状況と認識している。継続事業の着実な推進と多目的ドームの建設、土地利用計画の見直し、教育施設の整備、企業誘致等、課題が山積している。

町民の融和による「笑顔あふれる元気な町」づくりを力強く前に進めるためにも、強い決意をもって出馬に臨む考えである。

# 整備検討委員会が描く多目的ドーム 決定はいつか



澤上 訓 議員

## 町長「基本計画については本年度中に策定」

ドーム建設は、各種競技団体の体力・技術の向上、健康長寿青森県一を目指すための中高年の利活用促進、防災機能を持った避難施設であるという三つの思いが込められている。

**澤上** 多目的ドーム整備検討委員会委員報酬並びに整備検討業務委託料を当初予算に計上していたが、現在までの進捗状況は。

これまで委員会が何回開催されて、どのような議題で検討されているのか。

**町長** 視察研修会を含めて4回開催した。

内容は、必要とされる施設の規模や付属の設備について、さらにはグラウンド部分の仕様について、土または人工芝が想定される中で、どちらが良いのか、また、建設場所について、立地条件を確認しながら候補地について検討を進めている。

**澤上** 建設後の運営方法も検討されているのか。

**町長** 現在は、建物の本体部分、ハードの部分について検討している段階。その検討がある程度具体化した時点で、運営や利活用の方法など、ソフトの部分についてもご意見を伺いたい。

**澤上** 整備検討委員会が描く多目的ドームの姿はいつまでに決定されるのか。また、今後のスケジュールは。

**町長** 本年中にドーム建設の方向性、検討の結果を検討委員会の方針としてまとめていただくよう進めている。基本計画については、本年度中に策定することを予定しており、この案が完成した時点で、改めて議員の皆様説明したい。

### 大人の引きこもり 町の実態は

**澤上** 厚生労働省から大人の引きこもりについて調査活動の照会があったか。

**町長** 内閣府が平成27年12月に、無作為抽出した5000人と、その同居

家族に対する訪問調査を行っている。

また、今年度に入り全国の自治体に対して共同通信社からのアンケート調査があったが、当町には引きこもりの調査の実施予定がない旨を回答している。

いずれの調査も青年とされる人たちが対象となっており、40歳代以上のいわゆる大人に対する引きこもり調査は確認されていない状況にある。

**澤上** 秋田県藤里町では、引きこもり者のパワーを引き出し町おこしに生かそうと、実態調査と福祉拠点での取り組みが話題になっている。

調査は18歳から55歳までの町民1293人の8・74%にあたる113人が、長年仕事に就けない状態で引きこもっているという衝撃的な数字が出ている。

これは、藤里町だけでなく日本全国にこういった事例が出てきており、当町にもこのような実態があるのではないかと考

えるが、町長の見解は。

**町長** 大人の引きこもりは、身体・知的・精神に障がいがあり引きこもっている人たちとは別に、就労経験者が出勤できずに引きこもる例と、離職してその後就職できずに引きこもる例とに分けられる。

まずは、町の実態の把握に努め、引きこもり者が確認されれば、地域参加や就職といった社会復帰への支援策を検討したい。

### 百石音頭と 下田ふれあい音頭 継続して伝えては

**澤上** 合併して10年が経過し、新たにおいらせ音頭が制作された。

これによって、町民が心を一つにして、おいらせ町を実感できるキッカケになるものと考えているが、旧町時代に制作された百石音頭並びに下田ふれあい音頭は、このままお蔵入りとなるのか。

百石音頭並びに下田ふれあい音頭制作において

どれだけの財政が投入されてきたのか。

**町長** 百石音頭は105万円、下田ふれあい音頭は395万円の決算額となっている。

**澤上** このままお蔵入りということになると、せっかく旧町で築いた1つの文化が埋もれてしまうことになる。

継続して、伝えていくことも必要と考えるが、町側の考えは。

**町長** 百石音頭や下田ふれあい音頭の活用について、町文化協会からも同様の提案があり、旧町で制作された歌などの保存や活用について、社会教育体育課を中心に検討している。

旧音頭についても大事にすべき文化・財産であるという思いがあるので、過去の文化も大切にしつつ、新しい文化であるおいらせ音頭がさらに育まれ、町民の融和、一体感の醸成につながっていくばと思っている。



澤上 勝 議員

## 入札の指名選定は公平、平等か

### 町長「適正に審議を行っている」

委員長欠員が1年6ヶ月も続く入札適正執行委員会  
厳粛、公正、平等に審査をしているのか

**澤上** 入札参加資格の審査及び町が発注する1件の設計金額が3000万円以上の建設工事及び予定価格が700万円以上の業務委託について、請負業者を適正に指名選定等するため町建設工事等入札適正執行委員会があるが、厳粛、公平、平等に審査されているのか。

**町長** 町規則に基づき、委員会を設置し、適正に指名選定等審議を行っている。

**澤上** 公平、平等だという答えを信じて質問するが、その委員会の委員は誰か。またどんな基準で特に町外業者を指名しているのか。

**町長** 副町長が委員長、総務課長が副委員長となり、発注担当課長等関係課長が委員となっている。基準金額以上の発注案件があった場合に開催し、指名業者等の適格性審査や選定について審議して

職員の資質向上  
なされているのか

いる。指名業者の選定基準は、町規則に従い、土木・建設工事であれば、格付けされた参加資格者の中から、金額に応じた選定区分が定められている。

**企画財政課長** 町外業者はこの基準をもとに経営事項、完工高、実績等々勘案して選定している。

**澤上** 6月の議会でも地場産業育成の観点から地元業者を含む企業体の指名方法を実施し、地元企業に受注の機会を多くして地場産業の育成を図るようをお願いしたがどうなっているのか。

**町長** 企業体には「特定建設工事共同企業体」と「経常建設共同企業体」の2種類あり、前者は、制度化し運用しているが、後者については制度化やルール作りが必要なので研究課題として検討しているところである。

**澤上** この制度は期待する役割と行動、遂行すべき仕事の内容を明示することにより職員が自ら学び、士気の向上を促すことを目的としている。

**職員** の能力開発と人材育成への動機づけになることから、資質向上の柱になる取り組みとして昨年度より導入している。

給食センター方式となり、  
運営方法はどのように変化するのか



来年4月業務開始予定の学校給食センター

後、保護者に案内する。

**澤上** 米飯等のシステムはどう変わるのか。

**教育長** 新しい給食センター調理場で炊飯調理を行い、各校へ提供する。提供回数も4回にふやし、米飯中心の食習慣が身につくように、おいしい給食の推進に努める。

**澤上** 調理室、運搬、配膳等の事故が起きた場合の対応は万全か。

**教育長** 現在の給食施設でも「安全・安心な給食の提供」のため、現場で対応しているが、新給食センターでも引き続き事故防止を徹底するとともに、調理業務等受託事業者の持つノウハウを活かし、これまで以上に衛生管理の徹底を図っていき

**澤上** 給食センター方式に伴い、給食費の集金方法はどうなるのか。

**教育長** 平成30年4月から町の一般会計で管理する「公会計方式」での実施を決定したが、今後は町税や保育料等と同じ口座引き落としの方式になるので、金融機関と調整

# 地域資源を活用したまちづくりと産業振興について調査

## 産業民生常任委員会調査報告（北海道標津町・羅臼町）

去る7月3日から5日まで、産業民生常任委員会委員7名は、サケにこだわるまちづくりと海洋深層水特産化の取り組みについて調査しました。

### サケに特化した水族館

#### 「標津サーモン科学館」

標津町は北海道最東端部に位置する人口約5400人の町であり、サケ・ホタテ貝を中心とした漁業と広大な牧草地を活用した酪農の盛んな町です。

特にサケ・マスの年漁獲量が1万7千トンもあることから、平成3年に「サケの文化伝承」「自然保護、資源保護意識の啓



標津サーモン科学館を調査

蒙」などを目的に「標津サーモン科学館」を建設しています。

季節ごとのサケの生体展示をはじめ、産卵行動観察会、人工授精、稚魚放流などの体験学習を行い、年間80件、4000人ほど受け入れており、また羅臼沖で捕獲されたチヨウザメの展示開始と北海道大学との共同研究による養殖を機に、平成19年には手から直接餌を与えられる「チヨウザメ指パク体験コーナー（世界初）」を設け、サケのいない時期でも入館者が楽しめる施設となっています。

これからもチヨウザメ・サケ科魚類の養殖等水産業の研究・学習の場、まちの観光・情報発信の中核施設として邁進する

とのことでした。

### 海洋深層水を利用した

#### 衛生管理型漁港



羅臼漁港を調査

海洋深層水は低温・雑菌等が少ない清浄性・植物プランクトンの成長に必要な栄養が豊富といった特徴があるため、深層水が湧き上がる海は豊かといわれており、循環する大型資源として注目されています。

知床半島を斜里町と二

分する羅臼町（人口約5300人）は、就業者の6割以上が水産関連の仕事をする漁業の町ですが、近年、羅臼町の海が海洋深層水の湧き上がる場所であることがわかり、平成19年から羅臼漁港沖約3km、水深350mの地点から漁港まで深層水をくみ上げ、深層水の「低温」「清浄性」を利用した水を使わない経費削減と衛生管理型漁港を実現しています。

また羅臼町では今後、海洋深層水について研究機関や企業との共同研究により北海道の地域振興や産業振興に役立てていきたいとのことであり、水産加工のほかにも酒や飲料水などの食品加工化粧水などを研究中とのことでした。

## 第3回議員全員協議会

8月21日（月）、議員全員協議会が開催され、3つの案件について協議しました。

### ◆消防団員の退職報奨金等未払いについて

新聞でも報道された町職員による消防団員に関する事務処理の放置について、その経過と職員の処分内容、再発防止策について説明がありました。

### ◆庁舎整備に係る検討状況と今後の方向性について

外部委員で構成された町庁舎整備検討委員会から平成25年7月に提出された報告書では、優先候補地であるイオンモール下田周辺の他3カ所を新庁舎建設候補地としています。しかし庁内検討委員会では、財政面の課題や優先候補地における事業費や市街化調整区域という課題があることから、すでに市街化区域に指定され、インフラ整備も整っている「イオンモール下田敷地内」を新たに建設候補地として追加して、基礎調査を行うことについて説明がありました。

### ◆十和田地区環境整備事務組合「し尿処理施設整備基本計画」について

現在、おいらせ町から発生している尿及び浄化槽汚泥は、十和田地区環境整備事務組合の六戸衛生センターと三沢衛生センターで処理されています。しかし両施設の老朽化のため、今後高額な費用を必要とする衛生センターは建設せず、前処理施設を建設し、十和田市下水道へ投入するといった計画案について説明がありました。



中井町議会正副議長と

### 町民のニーズに合わせた

#### デマンド型交通

デマンド型交通とは、利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約して、乗合によって、それぞれの目的地まで移動する交通システムのことであり、当町でも調査研究を開始しています。

神奈川県南西部にある中井町（人口約1万人、面積約20km<sup>2</sup>）では、この方式を採用し、オンデマンドバスを運行しています。

去る7月12日から14日まで、総務文教常任委員会委員の名は、「中井ふれあいバス」と、「坂戸よさこい」について調査してきました。

担当者によると、コン

セプトを「住民ニーズに対応した移動手段の確保」「交通空白地帯の解消」として、バス路線の利便性の向上、町外にある駅・病院・スーパーなどへのアクセス強化、運転できなくなった時の将来の備えを重点として、公共交通が果たす役割を考えた結果、平成25年1月から実証実験としてオンデマンドバス「中井ふれあいバス」の導入に至ったとのこと。

「中井ふれあいバス」は乗降場所を117カ所に設け、13人乗りワゴン車2台で電話とインターネットによる予約受付により、午前7時から午後7時まで運行しています。料金（町内）は大人200円、小人100円と

なっています。

課題は利用者の固定化、乗車率の低迷、財源確保などであり、存続は検討中とのことですが、大変勉強になりました。

### 大イベントに成長した

#### 坂戸よさこい

坂戸市は人口約10万人、都心から45km圏に位置する都市です。平成13年9月に市制25周年を記念して「坂戸よさこい」を開始し、今では首都圏最大級のよさこいイベントとなっています。

第1回大会は、平成12年10月から近隣自治体の状況調査、高知県へのよさこい講師派遣や楽曲提供の協力依頼、警察との協議、市内公民館でのよさこい講習会や参加団体説明会などの準備を開始

し、その結果、踊り子チーム67団体、約4600人が参加、約12万人が来場したとのこと。

イベントは現在も続き、昨年10月の第16回大会での来場者は17万5千人、また第14回までの経済的波及効果は約83億円にもなるとのこと。

当町の「よさこいソニーラン」普及に向け、大変参考になりました。



坂戸市長とともに

## 新定住促進助成制度案は再考を

総務文教常任委員会

9月26日（火）、所管事務調査を行い、町の定住促進政策について調査しました。

### ◆若者等移住・定住促進助成制度について

現在、町では「地域の元気再生定住促進条例」を定め、下田小学校区、甲洋小学校区を対象に小学校児童数の減少に歯止めをかけるため、両地区における住宅の新築や中古住宅の購入、戸建住宅の賃借に対し助成金を交付しています。

しかし、町全域の人口減少の抑止と人口構造の均衡を図り、活力に満ちた地域づくりのため、新たに定住促進助成制度を設けることについて説明がありました。

この制度は、町外から転入し、住宅の新築や中古住宅の購入、親世代と同居するための増改築等を行う40歳未満の単身者や夫婦、子育て世帯に助成金を交付する案となっています。

### 【主な意見】

**澤上勝委員** なぜ40歳未満という限定をするのか。人口をふやしたいという考えなら年齢を限定すべきではない。

**松林委員** 40歳未満とするのは理解する。しかし助成対象地域を全町に拡大するが、現行の定住促進条例と同じ内容にも関わらず助成金額が少ないというのは町民の納得を得られるだろうか。

**田中委員** 町内会加入を助成要件としているが必要か。

**木村委員** 40歳未満という年齢制限は引き上げてほしいのでは。

**西館秀雄委員** 晩婚化が進み、40歳以降で子どもを持つ世帯も多くなるので、40歳という制限は考え直すべき。

## デマンド型交通とよさこいイベントを調査

総務文教常任委員会視察報告（神奈川県中井町・埼玉県坂戸市）

# 8月の長雨・低温による農作物生育状況を調査

## — 議員派遣 —

◆9月4日、第3回定例会初日に長雨・低温による農作物生育状況の調査のため、議員全員を町内3力所に派遣することを決定しました。

◆8月8日、全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)で開催された市町村議会議員研修に議員1名を派遣しました。

### ◆長雨・低温に係る農作物の現地調査

議会では8月における長雨・低温等の天候不順

における農作物の生育状況の調査のため、町内3力所に議員全員を派遣することを決定しました。



本村地区の水田で県職員の説明を受ける町長と議員

調査には町長と農林水産課長も同行し、本村地区と日ヶ久保地区の水田、木ノ下東地区のゴボウ畑を視察し、県農業普及振興室職員と千和田おいらせ農協下田支店職員の説明を受けました。

◆世界情勢からわがまの未来をつくる「トップマネジャー」の方のために

全国市町村国際文化研修所において、8月8日(火)、9日(水)の2日間に行われた研修に高坂隆雄議員を派遣しました。

同研修には全国から39名の市町村議会議員が参加し、華道家元池坊事務総長、今治タオル工業組合代表理事など4名を講

師に迎え、講義を受けました。

### 【高坂隆雄議員】

いつの時代にも時代の変化があり、それに対応できるように努力する必要があるが、特に今の時代は第4次産業革命へ突入し、世界情勢は日々変化をしている中、ますます対応力が問われ、地域の将来にかかっていることを学んだ。

当町では、健康長寿や農業改革、再生エネルギー開発、AI、IoTの活用を積極的に取り組むべきと思いを強くし

## 表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

送付先 おいらせ町議会事務局  
「議会広報写真」係

TEL 0178-56-2111(代表)

FAX 0178-56-4364

Mail gikai@town.oirase.aomori.jp

## 第4回定例会のお知らせ

平成29年12月7日(木)午前10時から

おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2112

## 編集後記

秋の風物詩、県南最後の百石まつり、下田まつりが周辺地域からたくさんの方がお見えになり盛大に行われました。秋の空は変わりやすいと言いますが、まさに両まつりに共に今年も風や雨に影響を受けました。しかしながら、観光協会の皆さんをはじめ関係各位のご努力により予定どおり無事に終了しました。まことに喜ばしいことです。

今年は8月の低温により、稲作畑作に生育不良が見られ、特に稲作の減収が懸念されています。被害が大きくないことを願うばかりです。

広報委員 木村忠一

